

来たれ！受験生！！ 名古屋大学 地球水循環研究センター 気象学研究室

名古屋大学地球水循環研究センター気象学研究室は、
名古屋大学大学院 環境学研究科 地球環境科学専攻 大気水圏系協力講座です。

詳しい研究内容、入試情報などは名古屋大学地球水循環研究センター気象学研究室ホームページ

<http://www.rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp/>

または、名古屋大学大学院 環境学研究科ホームページ

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>

をご覧ください。

研究室訪問は随時受け付けています。事前に教員にEメールなどでご連絡ください。

水の惑星地球、その大気は雲の生成消滅とそれに伴う水循環によって特徴づけられます。雲は、大気の温度を決め、地球全体の大気の運動を駆動します。大気は水蒸気を集め降水として地上に戻します。雲には夏の午後雷雨をもたらす積乱雲もあれば、集団となって梅雨をもたらしたり、台風を形成したりします。また、ダウンバーストや竜巻をおこすこともあります。中緯度、亜熱帯、熱帯それぞれの地域で全く異なる雲がさまざまな雨をもたらします。このような地球大気にあふれる雲、しかしながら、雲がどのように形成され発達するのか、その中で何が起きているのか、また雲とその集団がどのようにして豪雨をもたらしたり台風を作り出すのか、雲とそれが関わる気象には未知なるものがあふれています。それを知るために、気象学研究室では、マルチパラメーターレーダーを使って観測をし、雲解像モデルによるコンピュータシミュレーションを行っています。雲を通して地球を理解する。そんな希望を持つ人、野外に出て自然を直接さわってみたい人、計算機の中に仮想地球を作りたい人、地球水循環研究センター気象学研究室で共に研究をしましょう。

教員

上田 博（うえだ ひろし）（教授）

E-メール：uyeda@rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp

坪木和久（つぼき かずひさ）（教授）

E-メール：tsuboki@rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp

篠田太郎（しのだ たろう）（准教授）

E-メール：shinoda@rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp

